

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-37120

(P2002-37120A)

(43)公開日 平成14年2月6日(2002.2.6)

BEST AVAILABLE COPY

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

マーク(参考)

B 6 2 D 15/00
B 6 0 K 17/356
17/00
B 6 2 B 3/00
B 6 2 D 61/10

B 6 2 D 15/00
B 6 0 K 17/356
B 6 2 D 61/10
B 6 0 K 17/358
B 6 2 B 3/00

3 D 0 4 3
3 D 0 5 0

G

審査請求 未請求 請求項の数13 O L (全 15 頁)

(21)出願番号

特願2000-222616(P2000-222616)

(71)出願人 000005832

松下電工株式会社

(22)出願日

平成12年7月24日(2000.7.24)

大阪府門真市大字門真1048番地

(72)発明者

前田 裕史

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株

式会社内

(72)発明者

藤原 茂喜

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株

式会社内

(74)代理人 100087767

弁理士 西川 恵清 (外1名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 全方向移動型台車

(57)【要約】

【課題】 空転している全方向駆動車輪があっても台車を正常にコントロールして移動させる。

【解決手段】 駆動力を個別に付与することができる少なくとも4個の全方向駆動車輪2a, 2b, 2c, 2dと、駆動方向指示部からの指示に基づいて演算された駆動力を上記駆動車輪の駆動源に発生させる制御手段とを備える。各全方向駆動車輪の空転を検出する空転検出手段を備える。上記制御手段はいずれかの全方向駆動車輪が空転状態と判断された時、該全方向駆動車輪を除く他の全方向駆動車輪に対して駆動方向指示部からの指示に基づいて演算された駆動力を上記他の全方向駆動車輪の駆動源に発生させる。スリップ等による空転がいずれかの全方向駆動車輪に生じても、この全方向駆動車輪を除く他の全方向駆動車輪によって指示に基づく動きを台車に行わせる。

